

2011年7月28日

**プレスリリース**

本資料は7月28日にチュ  
ーリッヒで発表されたプレ  
スリリースの翻訳版です

**クレディ・スイス・グループ**

**2011年第2四半期業績を発表**

**税引前基礎的純利益 12 億スイス・フラン (CHF) \*、基礎的純利益 8 億  
3,500 万 CHF、基礎的株主資本利益率 10%**

**事業再編費用 1 億 4,200 万 CHF、自社社債および自己勘定債務関連独立  
デリバティブ正味時価利益分 4,100 万 CHF を含む税引前利益 11 億 CHF、  
純利益 7 億 6,800 万 CHF、株主資本利益率 9.7%**

**新規純資産 143 億 CHF、バーゼル II Tier1 資本比率 18.2%、強固な資  
本基盤を維持**

**2011 年上半期基礎的純利益 24 億 CHF、基礎的株主資本利益率 15%、新  
規純資産 334 億 CHF**

**ワルター・ベルクトールドをプライベート・バンキング部門会長、ハン  
ス・ウルリッヒ・マイスターを同部門最高経営責任者に任命**

**\*事業再編費用 1 億 4,200 万 CHF、自社社債および自己勘定債務関連独立デリバティブ正味時  
価利益分 4,100 万 CHF を除く**

- 2011 年第 2 四半期ハイライト
  - 欧州債務危機および世界経済指標の悪化にともなう低調な顧客活動と困難なトレーディング環境
  - 低金利環境
  - スイス・フラン高により、当四半期の税引前利益が前年同期比 3 億 4,800 万 CHF 減、上半期の税引前利益が前年同期比 6 億 3,700 万 CHF 減
  - 全部門にわたり新規純資産創出と市場シェア拡大の勢いが引き続き堅調
- プライベート・バンキング部門

- 税引前利益 8 億 4,300 万 CHF、純収益 27 億 9,700 万 CHF。前年同期に比べ当四半期の税引前利益への外国為替マイナス影響分 2 億 500 万 CHF
- 堅調な新規純資産流入 115 億 CHF
- ウェルス・マネジメント顧客事業：純利息収益と取引高の減少で、グロス・マージンが 115 ベーシス・ポイントへ低下
- コーポレート&インスティテューショナル顧客事業：非常に好調な業績により税引前マージンの 53%を記録
  
- インベストメント・バンキング部門
  - 税引前利益 2 億 3,100 万 CHF、純収益 28 億 2,200 万 CHF、前年同期に比べ当四半期の税引前利益への外国為替マイナス影響分 1 億 5,100 万 CHF
  - 債券セールス&トレーディング業務、困難なトレーディング状況とやや低調な顧客フローがマイナスの影響
  - 株式セールス&トレーディング、市場出来高の減少にもかかわらず堅調な収益
  - 引受およびアドバイザリー業務、堅調な業績、市場シェア改善
  - 市場のボラティリティを鑑みリスク・エクスポージャーを縮小、一日平均 98%リスク・マネジメント・バリュー・アット・リスク値 (VaR) は、2010 年第 2 四半期比 24%減
  
- アセット・マネジメント部門
  - 税引前利益 2 億 200 万 CHF、純収益 6 億 2,900 万 CHF。前年同期に比べ当四半期の税引前利益への外国為替マイナス影響分 2,700 万 CHF
  - 新規純資産 40 億 CHF
  
- 費用基盤の調整により投資リターンの弾力性を向上
  - 様々な対策の実施により、2011 年上半期年率換算ランレート・レベル比で、2012 年に 10 億 CHF のランレート・コスト節減を実現の見込み
  - 2011 年の総対策実施費用は 4 億から 4 億 5,000 万 CHF、このうち 2011 年第 2 四半期に認識されたのは 1 億 4,200 万 CHF

クレディ・スイス・グループは、本日、2011 年第 2 四半期業績を発表しました。2011 年第 2 四半期の税引前基礎的利益は 12 億 CHF、基礎的純利益は 8 億 3,500 万 CHF、基礎的株主資本利益率は 10%でした。事業再編費用 1 億 4,200 万 CHF と自社社債および自己勘定債務関連独立デリバティブの正味時価利益 4,100 万 CHF を含めた税引前利益は 11 億 CHF、株主帰属ベース純利益は 7 億 6,800 万 CHF、中核業績純収益は 63 億 CHF でした。株主帰属ベース資本利益率は 9.7%、希薄化後 1 株当たり利益は 0.48 CHF でした。2011 年第 2 四半期末のバーゼル II Tier 1 資本比率は 18.2%でした。

最高経営責任者 (CEO) のブレイディ・ドゥーガンは、次のように述べています。「第 2 四半期の業績は残念な結果ではありましたが、2011 年上半期で基礎的株主資本利益率 15%を達成し、当社事業モデルの強みが強調されました。アセット・マネジメント部門が第 2 四半期で好調な業績を示したほか、プライベート・バンキング部門も、市場の逆風が大変強かったにもかかわらず、堅調な業績を記録し、新規純資産の獲得でその強さを維持しました。しかし、インベストメント・バンキング部門の業績は期待を下回りました」。

「不確実で困難な経済および市場環境の中で魅力的な投資利益を確保するため、引き続き積極的に全社的な費用効率化に取り組んでいます。効率化達成のための全社的に対策を実施し、同時に、顧客中心戦略に即した事業に投資し、引き続き運用資産を増大し、市場シェアを拡大し、当社事業モデルの強みを確認することができました」。(ドゥーガン)

「新しい規制環境に早めに適応し、事業費用基盤の調整に取り組んでおり、今後経済と市場の状況が回復すれば、当社の事業基盤が大幅な成長可能性をもたらすと期待しています」。(ドゥーガン)

### ワルター・ベルクトールドをプライベート・バンキング部門会長、ハンス・ウルリッヒ・マイスターをプライベート・バンキング部門最高経営責任者に任命

取締役会は、8月1日付で、ワルター・ベルクトールドをプライベート・バンキング部門の会長に、ハンス・ウルリッヒ・マイスターを同部門最高経営責任者（CEO）に指名しました。マイスターは、クレディ・スイスのスイス地域最高経営責任者を兼務します。ベルクトールドは、戦略的重要性の高い富裕層顧客向け事業の一層の成長に注力するとともに、各事業責任者や地域責任者と密接に協力し、統合事業モデルの構築を進め、世界における当社の事業基盤拡充に努めます。両名ともにドゥーガンの直属で、クレディ・スイスのエグゼクティブ・ボードのメンバーです。

ドゥーガンは、次のように述べています。「ベルクトールドと彼のチームは、プライベート・バンキングの事業基盤を世界的に構築してきました。2008年以來ウエルス・マネジメント顧客事業だけで1,500億CHFを上回る新規純資産を獲得しました。これは当社に続く競合他社の資産獲得高の約3倍の規模で、当社は一貫して業界最高のマージンを達成しています。世界の顧客が複数拠点（マルチショア能力）を求めていることを早くから認識し、ベルクトールドの任期中に、世界規模のブックイング基盤網を構築し、国際事業を大幅に拡大することができました。世界規模で優れたアドバイスとサービスを提供し、優れた人材を惹きつけるという当社の実績は、顧客に認知されており、多くの業界賞もそれを示しています。マイスターは、2008年にクレディ・スイスに入社し、以來当社が大きな困難に直面した時期に優れた指導力を発揮し、その能力を証明してきました。当社はマイスターの起用により、この非常に重要な事業の円滑な引き継ぎができると考えています」。

### 費用調整

引き続き困難な市場環境の中で好業績を達成するために、10億CHFの費用節減と2012年のランレートのコスト削減を目的とした多くの効率向上対策を実施しています。この対策にはグループ全体の総人員の約4%の削減目標が含まれています。これらの対策の実施費用は2011年全体で4億から4億5,000万CHF、このうち1億4,200万CHFを2011年第2四半期で認識され、さらなる金額を下半期で認識する予定です。これら実施費用の結果として、今回の対策による2011年の正味節減分は限られますが、2012年は十分な効果が見込まれます。

### 決算ハイライト

単位：(他に定めがない限り)百万CHF	2011年 第2四半期	2011年 第1四半期	2010年 第2四半期	2011年第1 四半期からの 増減率(%)	2010年第2 四半期からの 増減率(%)
当期純利益 株主帰属ベース	768	1,139	1,593	(33)	(52)
希薄化後1株当たり利益 (CHF)	0.48	0.90	1.15	(47)	(58)

株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	9.7%	13.4%	17.8%	-	-
Tier 1 資本比率 (期末)	18.2%	18.2%	16.3%	-	-
運用資産 (10 億 CHF)	1,233.3	1,282.4	1,242.6	(3.8)	(0.7)
<b>中核事業ベース</b>					
純収益	6,326	7,813	8,420	(19)	(25)
貸倒引当金繰入額	13	(7)	20	-	(35)
営業費用合計	5,227	6,195	6,594	(16)	(21)
継続事業からの税引前利益*	1,086	1,625	1,806	(33)	(40)
<b>基礎的業績ベース**</b>					
純収益	6,285	8,430	7,506	(25)	(17)
継続事業からの税引前利益	1,187	2,242	1,555	(47)	(26)
純利益 株主帰属ベース	835	1,606	1,063	(48)	(24)
株主資本利益率 株主帰属ベース (年換算)	10.3%	18.8%	12.3%	-	-

\* 中核事業は 3 事業部門とコーポレート・センターを含む。ただし大きな経済的利益を有しない非支配持分に関する利益と費用を除く。

\*\* 事業再編費用 1 億 4,200 万 CHF (税引後 9,400 万 CHF) および自社社債および自己勘定債務関連独立デリバティブの時価利益 4,100 万 CHF (税引後 2,700 万 CHF) を除く。

## 部門別業績

### プライベート・バンキング部門

ウェルス・マネジメント顧客事業とスイス国内コーポレート&インスティテューショナル顧客事業からなるプライベート・バンキング部門の当四半期の税引前利益は 8 億 4,300 万 CHF で、前年同期比 4%減となりました。外国為替の下落、主に米ドルとユーロのスイス・フランに対する下落が業績にマイナスの影響をもたらしました。外国為替影響分を除いた場合、2011 年第 2 四半期の税引前利益は、前年同期比 1 億 7,400 万 CHF 増、すなわち 20%増となり、純収益も前年同期比 1 億 CHF 増、すなわち 3%増となります。

当四半期の純収益は、純利息収益が 10%減、トランザクション・ベース収益が 7%減となったことによって前年同期を下回りました。純利息収益の減少は外国為替マイナス影響と低金利環境が続いていることによります。トランザクション・ベース収益の減少は、主として当四半期中の顧客活動のレベルが大幅に低下したことによる、仲介手数料と商品発行費用の大幅な減少と顧客取引からの外国為替収益の減少によりますが、その一部は、不動産の売却益によって相殺されました。営業費用合計は、外国為替のマイナス影響により、ほとんどの費用項目で減少したことから前年同期を下回りました。

ウェルス・マネジメント顧客事業の当四半期の税引前利益は 5 億 9,500 万 CHF で、前年同期比 6%減となりました。純収益が減少したものの、その一部は、営業費用合計の減少によって相殺されました。この減収は、主として外国為替マイナス影響分、顧客活動のレベルの大幅な低下 (株式と債券の出来高が 20%以上減少) および低金利環境によるものです。当四半期の 115 ベーシス・ポイントのグロス・マージンは、前年同期比 5 ベーシス・ポイント減となりましたが、これは、純利息収益とトランザクション・ベース収益からの貢献の減少によって生じました。

コーポレート&インスティテューショナル顧客事業は、スイス国内における法人顧客および機関投資家ならびに世界中の銀行のすべての金融サービス・ニーズを総合的に網羅しています。当事業の 2011 年第 2 四半期の税引前利益は 2 億 4,800 万 CHF で、前年同期を 3%上回り

ました。当四半期の純収益が若干減少したものの、これを上回る営業費用合計における7%の減少があったためです。税引前マージンは、前年同期の51%に比べて、当四半期53%と引き続き大変高レベルで推移しました。この好業績は、すべての事業によって牽引され、とりわけ、スイスの大手法人顧客分野における事業活動レベルが高かったことおよびコモディティ取引金融事業における強力な事業成長が挙げられます。スイス・フラン高とそのスイス経済業績に対する影響にもかかわらず、融資ポートフォリオは好調に推移しました。

### インベストメント・バンキング部門

インベストメント・バンキング部門の当四半期の税引前利益は2億3,100万CHFで、前年同期比71%減、2011年第1四半期比83%減でした。当四半期の純収益は28億2,200万CHFで、前年同期比31%減、2011年第1四半期比43%減でした。

当四半期の業績は、欧州ソブリン問題、信用スプレッドの拡大、米国をはじめとする各国の経済指標悪化を引き金とした困難なトレーディング状況と顧客活動の低迷によって、大きな影響を受けました。

また、当四半期の業績は、米ドル安、スイス・フラン高を反映しており、収益にマイナスの影響を与える一方、費用にはプラスの影響をもたらしました。外国為替影響分を除いた場合、当四半期の税引き前利益は前年同期を4億200万CHFまたは51%下回り、純収益は前年同期を5億3,400万CHFまたは13%下回りました。

当四半期の債券セールス&トレーディングの業績は、前年同期および2010年第1四半期を大幅に下回りました。これは、困難なマーケット・メイキング状況とやや弱い顧客フローによるものです。すべての業務で収益がプラスとなったものの、証券化商品、クレジット、金利業務の業績は、変動するトレーディング状況と流動性の低下によって悪影響を受け、顧客トレーディング業務に関連した在庫持高の損失につながりました。さらに、リスク・レベルの低下により、在庫持高と関連ヘッジの売却により、証券化商品業務に損失が生じました。新興市場およびコモディティ業務は業績が上向きました。また、この業績には、特定の担保デリバティブ証券の公正価値の決定に用いられる翌日物金利スワップ(OIS)イールド曲線の適用による見積もりの変更に関連した損失分1億1,500万CHFが含まれます。

当四半期の株式セールス&トレーディングの業績は堅調であったものの、前年同期と2011年第1四半期を下回りました。これは、顧客売買活動の鈍化と外国為替マイナス影響分によるものです。株式セールス&トレーディングの業績は、主としてプライム・サービス、キャッシュ・エクイティ、デリバティブ、株式裁定取引の収益で構成されています。

引受およびアドバザリー業務は、株式の引受とアドバイザー業績が回復したことを受けて、堅調でした。

当四半期の従業員報酬および関連手当は14億4,600万CHFで、前年同期および2011年第1四半期を下回りました。これは前年同期に比べて外国為替マイナス影響分が3億2,100万CHFとなったこと、および裁量的業績連動報酬が減少したことによります。

当四半期の一日平均 98% リスク・マネジメント・バリュエーション・リスク値 (VaR) は、7,100 万 CHF で前年同期の 9,400 万 CHF を 24%、2011 年第 1 四半期の 7,700 万 CHF を 8%、それぞれ下回りました。

### アセット・マネジメント部門

アセット・マネジメント部門の当四半期の税引前利益は 2 億 200 万 CHF、前年同期を 1 億 8,000 万 CHF、2011 年第 1 四半期を 3,000 万 CHF、それぞれ上回りました。当四半期の純収益は 6 億 2,900 万 CHF で前年同期を 25%、2011 年 1 四半期を 6%、それぞれ上回りました。投資関連利益および当社マネー・マーケット・ファンドから取得した有価証券計上前の純収益は、4 億 7,300 万 CHF で、前年同期比 12% 増でしたが、これは、オルタナティブ投資および分散投資の業績が回復したことによります。

運用手数料収益が前年同期比 12% 減の 3 億 1,300 万 CHF になったものの、全体の手数料ベース収益は前年同期比 9% 増となりました。これは、外国為替マイナス影響分ならびに非中核事業の分割および売却によります。販売手数料、取引手数料およびその他の手数料収益は、前年同期比 30% 増となりました。これは主としてプライベート・エクイティ販売手数料収益の増加が、不動産のトランザクション手数料収益の減少で一部相殺されたことによります。業績報酬と利払い金額の収益が前年同期比 5,700 万 CHF 増となりましたが、これはヘッジング・グリフォからの上半期業績報酬が大幅に伸びたこと、およびプライベート・エクイティの実現利益による利払い金額が増えたことによります。株式資本参加による収益は前年同期比 57% 増で、これは主としてシングル・マネジャー・ヘッジファンドに対する投資および分散投資戦略からの増収によります。投資関連利益は前年同期比 1 億 1,300 万 CHF 増の 1 億 5,600 万 CHF となりました。これはプライベート・エクイティ投資の実現利益と非実現利益を含みます。

当四半期の営業費用合計は 4 億 2,700 万 CHF で、前年同期を 11% 下回りましたが、これは従業員報酬および関連手当、一般管理費および手数料費用が減少したことによります。

### 部門別業績

単位：百万 CHF		2011 年 第 2 四半期	2011 年 第 1 四半期	2010 年 第 2 四半期	2011 年第 1 四半期からの 増減率 (%)	2010 年第 2 四半期からの 増減率 (%)
プライベート・ バンキング	純収益	2,797	2,896	2,991	(3)	(6)
	貸倒引当金繰入額	(2)	12	3	-	-
	営業費用合計	1,956	2,029	2,114	(4)	(7)
	税引前利益	843	855	874	(1)	(4)
インベストメント・ バンキング	純収益	2,822	4,929	4,099	(43)	(31)
	貸倒引当金繰入額	15	(19)	17	-	(12)
	営業費用合計	1,130	1,197	1,284	(6)	(12)
	税引前利益	231	1,343	784	(83)	(71)
アセット・ マネジメント	純収益	629	591	502	6	25
	貸倒引当金繰入額	0	0	0	-	-
	営業費用合計	427	419	480	2	(11)
	税引前利益	202	172	22	17	-

### 新規純資産

プライベート・バンキング部門の当四半期の新規純資産は 115 億 CHF でした。ウェルス・マネジメント顧客事業が幅広い新規純資産流入を記録しましたが、この 3 分の 2 が外国地域か

らのものでした。当四半期の運用資産残高は、前年同期末比 0.7%減となりましたが、これは、好調な新規純資産ならびに積極的な株式および債券市場の動向が、不利な外国為替関連の動向、主に米ドルとユーロのスイス・フランに対する下落、によって相殺されたことによります。

アセット・マネジメント部門の当四半期の新規純資産は 40 億 CHF で、これには伝統的投資業務の正味資産流入分 28 億 CHF（主としてマルチアセットクラス・ソリューションにおける正味資産流入）、オルタナティブ投資業務の正味資産流入分 15 億 CHF（不動産、コモディティ、ETF の各業務における正味資産流入分によって牽引）が含まれています。当四半期の運用資産残高は、前年同期と比べて安定的に推移しました。これは不利な外国為替関連の動向のほとんどが新規純資産と積極的な市場業績によって相殺されたことによります。

### 資本管理

クレディ・スイスの資本基盤は引き続き非常に強固です。2011 年第 2 四半期末時点の BIS Tier 1 資本比率は 18.2%でした。これは、2011 年第 1 四半期末時点に比して、Tier 1 資本比率が下がり、リスク加重資産（RWA）残高が減少したことによります。2011 年第 1 四半期末時点の中核的 Tier 1 資本比率は 13.1%、2011 年第 1 四半期末時点は 13.0%でした。

### コーポレート・センター

コーポレート・センターは、自社社債のスプレッドの動きによる損失と事業再編費用 1 億 4,200 万 CHF の計上により、当四半期に 1 億 9,000 万 CHF の損失を記録しました。2011 年第 1 四半期は 7 億 4,500 万 CHF の損失、前年同期は 1 億 2,600 万 CHF の利益でした。

### 統合事業モデルのメリット

クレディ・スイスの当四半期の統合事業モデルからのコラボレーション収益は 11 億 CHF でした。これは当四半期の純収益全体の 17.5%を占めています。

### 本件に関するお問い合わせ先

クレディ・スイス  
コーポレート・コミュニケーションズ  
梶野 勇  
Tel : 03-4550-9893  
Email : isamu.kajino@credit-suisse.com

### クレディ・スイス AG について

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開し、アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイス AG は、世界 50 ヶ国以上に拠点をもち、約 50,700 人の従業員を有しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式（CSGN）はスイスで上場され、米国預託証券（CS）としてニューヨークでも上場しています。

**Cautionary statement regarding forward-looking information and non-GAAP information**

This press release contains statements that constitute forward-looking statements within the meaning of the Private Securities Litigation Reform Act. In addition, in the future we, and others on our behalf, may make statements that constitute forward-looking statements. Such forward-looking statements may include, without limitation, statements relating to the following:

- our plans, objectives or goals;
- our future economic performance or prospects;
- the potential effect on our future performance of certain contingencies; and
- assumptions underlying any such statements.

Words such as “believes,” “anticipates,” “expects,” “intends” and “plans” and similar expressions are intended to identify forward-looking statements but are not the exclusive means of identifying such statements. We do not intend to update these forward-looking statements except as may be required by applicable securities laws. By their very nature, forward-looking statements involve inherent risks and uncertainties, both general and specific, and risks exist that predictions, forecasts, projections and other outcomes described or implied in forward-looking statements will not be achieved. We caution you that a number of important factors could cause results to differ materially from the plans, objectives, expectations, estimates and intentions expressed in such forward-looking statements. These factors include:

- the ability to maintain sufficient liquidity and access capital markets;
- market and interest rate fluctuations;
- the strength of the global economy in general and the strength of the economies of the countries in which we conduct our operations, in particular the risk of a continued US or global economic downturn in 2010 and beyond;
- the direct and indirect impacts of continuing deterioration of subprime and other real estate markets;
- further adverse rating actions by credit rating agencies in respect of structured credit products or other credit-related exposures or of monoline insurers;
- the ability of counterparties to meet their obligations to us;
- the effects of, and changes in, fiscal, monetary, trade and tax policies, and currency fluctuations;
- political and social developments, including war, civil unrest or terrorist activity;
- the possibility of foreign exchange controls, expropriation, nationalization or confiscation of assets in countries in which we conduct our operations;
- operational factors such as systems failure, human error, or the failure to implement procedures properly;
- actions taken by regulators with respect to our business and practices in one or more of the countries in which we conduct our operations;
- the effects of changes in laws, regulations or accounting policies or practices;
- competition in geographic and business areas in which we conduct our operations;
- the ability to retain and recruit qualified personnel;
- the ability to maintain our reputation and promote our brand;
- the ability to increase market share and control expenses;
- technological changes;
- the timely development and acceptance of our new products and services and the perceived overall value of these products and services by users;
- acquisitions, including the ability to integrate acquired businesses successfully, and divestitures, including the ability to sell non-core assets;
- the adverse resolution of litigation and other contingencies;
- the ability to achieve our cost efficiency goals and other cost targets; and
- our success at managing the risks involved in the foregoing.

We caution you that the foregoing list of important factors is not exclusive. When evaluating forward-looking statements, you should carefully consider the foregoing factors and other uncertainties and events, as well as the information set forth in our Annual Report 2010 under IX – Additional information – Risk Factors.

This press release contains non-GAAP financial information. Information needed to reconcile such non-GAAP financial information to the most directly comparable measures under GAAP can be found in the Credit Suisse Financial Release 2Q11.